

コマツ 健康白書

Health & Well-being Report 2025



ご挨拶



コマツ
代表取締役社長(兼)CEO

今吉 琢也

私たちは、主に建設・鉱山機械、産業機械の事業を通じて、持続可能なソリューションを創出し、世界中の人々の暮らしを豊かにすることを使命としています。その実現には、社員一人ひとりが心身ともに健康で、明るくいいきと働ける環境が欠かせません。

そのためコマツグループでは、安全衛生と健康をすべての事業活動の最優先事項と位置付け、会社、小松製作所健康保険組合(以下、健康保険組合)、労働組合、健康増進センタが一体となって社員の健康増進に取り組んでいます。

こうした取り組みはグローバルにおいても重要です。国や地域によって文化や価値観は異なりますが、「誰もがWell-being(幸福・健康)を実感しながら働く」ことは、世界共通の価値観です。各国の施策を共有し、学び合うことで、より良い健康づくりが可能になると信じています。

これからもコマツは、人、社会、地球が共に栄える未来の実現に向けて、すべてのステークホルダーの皆さまと歩み続けてまいります。

コマツが目指す豊かな未来の創造、
社員の皆さんの“心身の健康”がその原動力です。

コマツ
健康増進センタ所長

井田 雅祥



コマツグループでは、2014年より健康づくり計画を進めています。これは、コマツグループの健康上の課題・問題点を抽出してチームを作り、健康対策の企画立案や施策の実行を進めるもので、法定健診に加えて任意の検診の提供や、健康情報の収集と発信、健康教育、指導、実践など、幅広い活動を展開しています。

こうした活動が実りある成果へと結びつくためには、社員のもとに情報が届き、健康に対する意識を高めていただくことが不可欠です。「コマツ健康白書」は、会社が抱える健康課題とその原因、対策と活動成果を報告し、社員の皆さんへより健康維持・増進に役立つ情報を提供することを目的としています。

健康は自由な活動や楽しみを実現するための基盤です。健康を損なったために、退職後の夢が難しくなったという声を聞くことも少なくありません。私たちは、社員の皆さんにヘルスリテラシーを身につけていただき、健康行動を習慣化しWell-beingを継続的に向上させることで、健康であるだけでなく、心身ともに美しく輝き、心地よい生き方を歩んでいただきたいと願っています。

コマツの目指すもの

私たちの存在意義

ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、
人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く



社員全員が心も身体も健康で、
明るくいきいきと働ける環境が
あってこそビジョンを実践可能

社会のため、会社のため、社員とその家族のために
コマツは「安全衛生・健康」を、第一優先に掲げています

コマツは、事業を展開するうえでの最も重要なテーマの1つとして、「SLQDC」を掲げ、安全衛生・健康をすべてに優先しています。

更に、その取り組みの推進を「安全衛生に関する社長メッセージ」としてグループ内はもとより、ビジネスパートナーを含めた社内外に発信しています。

コマツおよびコマツグループの事業における優先順位



安全衛生に関する社長メッセージ

1. コマツは、SLQDCの優先順位を順守し、第一に『社員が安全で安心して働くことのできる職場環境を確保する』とともに、『社員の健康の維持・増進』に努める。
2. コマツは、その実現に向けて、全員が一致協力して、『積極的な安全衛生・健康管理活動』を推進する。
3. コマツは、グループのみならず、パートナー（お客様・代理店・協力企業等）の安全衛生の強化にも積極的に取り組む。
4. コマツの各部門責任者は、上記を最優先課題として認識し、率先垂範して活動する。

安全衛生関係者をはじめ社員の皆さんは、この「社長メッセージ」に基づき、具体的には下記行動方針で進めて下さい。

- (1) 安全衛生関係法令（告示・指針、行政通達、行政指導を含む）および、各種社内規程・ルール（安全基本作業15箇条、作業標準、作業心得等）を理解し、順守するとともに、問題点があれば迅速に対応する。
- (2) 労使が協力して取り組み、全員参加の下、ファクトファインディングで問題点を明らかにし、対策を図る。このため、各種コミュニケーションの一層の円滑化に努める。
- (3) 災害、火災等の未然防止を図るためのマネジメントシステム（ISO45001）を確実に機能させ、現場におけるリスクを排除する。自然災害についても、被害を最小限に抑えるよう、最大限の努力をしていく。
- (4) 心も身体も健康で明るくいきいきと働ける職場づくりを目指す。



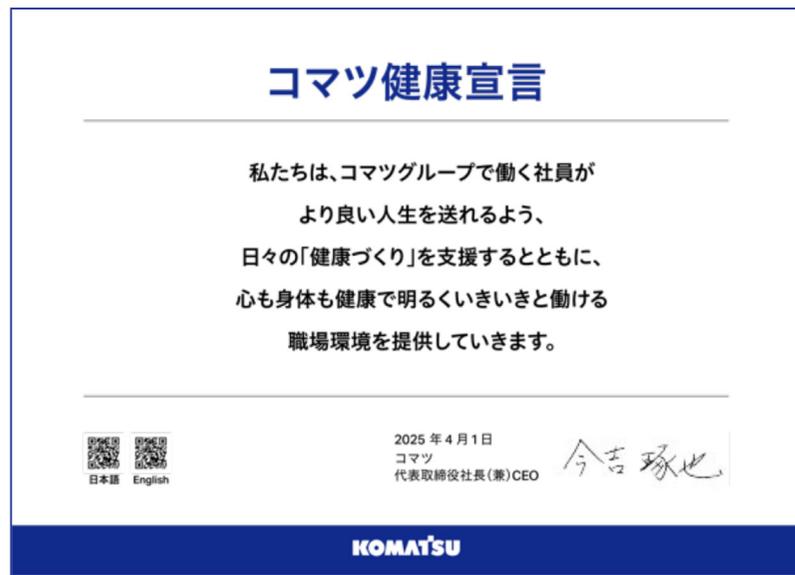
2025年4月1日
コマツ
代表取締役社長（兼）CEO 今吉 琢也

KOMATSU

安全衛生・健康の基本方針

2011年、「安全衛生に関する社長メッセージ」をもとに、グループ全体で、社員が安全で、安心して働くことのできる職場環境の確保、および社員の健康の維持・増進に努め、その実現に向けて社員全員が一致協力して、積極的な安全衛生・健康増進活動を推進するという「安全衛生方針」が制定されました。

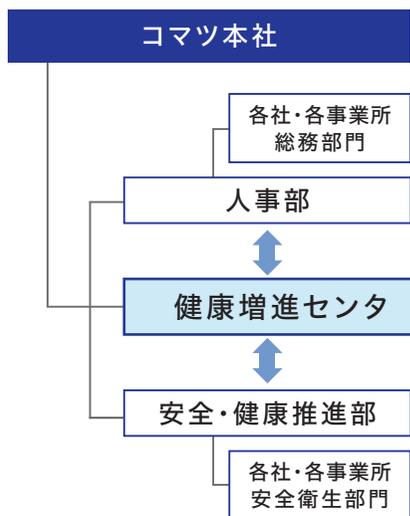
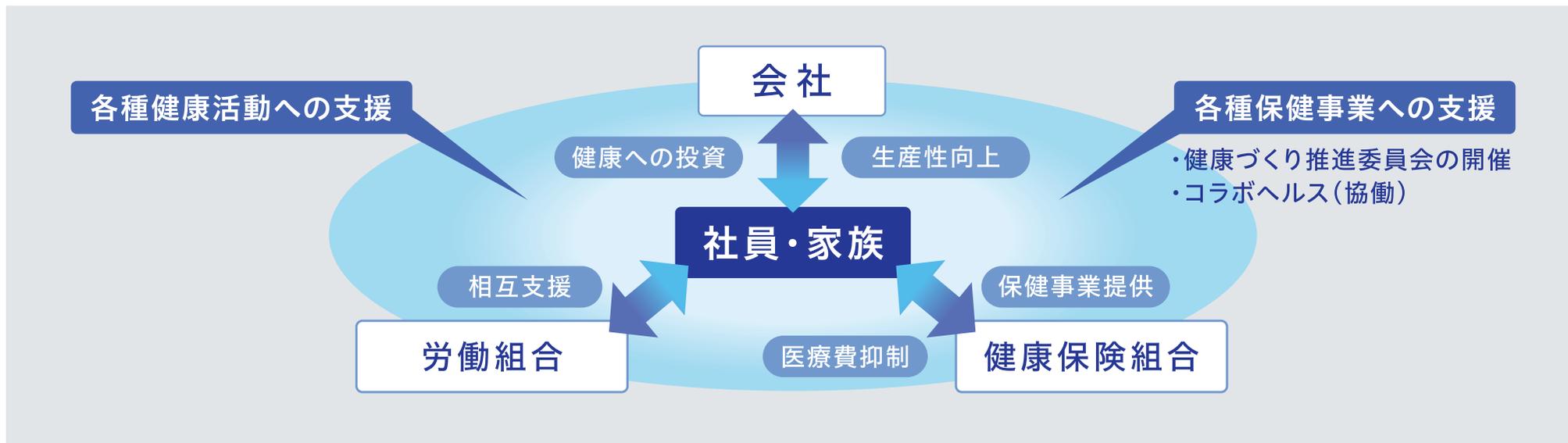
これらを強力に推進するため、2014年にコマツ社長による「**コマツ健康宣言**」を発表、2025年に新たに社長に就任した今吉琢也が健康宣言を行いました。



安全衛生方針

1. 労働安全衛生に関する法令や社内規定、グループ共通の安全衛生重点項目および各事業場で労使協議の上決めた事項を遵守する。 **【コンプライアンス】**
2. 安全衛生方針に基づいた目標を定め、その達成状況の把握と見直しを行い、安全衛生活動の継続的な改善・向上に取り組む。 **【継続的活動改善】**
3. 労使協力して、全員参加の安全衛生活動を推進するとともに、ステークホルダーとも良好なコミュニケーションを図る。 **【労使協力・コミュニケーション】**
4. 安全と健康確保のため職場の労働安全衛生上のリスクを特定・評価し、その結果に基づき適切に対応する。 **【リスク管理】**
5. 社員の健康管理を積極的に推進し、さらに社員自らが行う健康保持増進の取り組みを支援する。 **【健康保持増進】**
6. 社員の安全衛生活動に必要な教育訓練および資格取得を積極的に推進し、安全に業務を遂行できる人材の育成を図る。 **【人材育成】**
7. 事業活動を通じて蓄積した安全衛生活動に関する知識・情報は、個人情報に配慮し、社会全体の安全と健康確保のために提供する。 **【情報発信】**

コマツグループの健康推進体制



**【国内】
各社・各事業所
健康管理室**

産業医：11名
看護職等：39名
(うち1名の保健師が健康保険組合との兼務)
事務等：5名

- ① 粟津健康管理室 (金沢分室)
- ② 氷見健康管理室
- ③ コマツNTC健康管理室
- ④ 大阪健康管理室
- ⑤ 滋賀健康管理室
- ⑥ 茨城健康管理室
- ⑦ 小山健康管理室 (栃木分室)
- ⑧ 郡山健康管理室
- ⑨ 湘南健康管理室
- ⑩ 国内販売本部分室



※職員数・所在地はいずれも2025年4月1日現在

健康保険組合と会社のコラボヘルス

コラボヘルスとは？

「コラボヘルス」とは、健康保険組合と会社が連携した健康づくりのこと。
 小松製作所健康保険組合とコマツは、KHP100 (Komatsu Health Promotion 100) や「PepUp (健康状態を可視化するポータルサイト)」をはじめ、さまざまな健康施策で協働しています。

▶ 施策事例：脳ドック、ヘルスアップセミナー、禁煙支援 ほか

※詳細はP.10以降「具体施策」参照



健康データの見える化

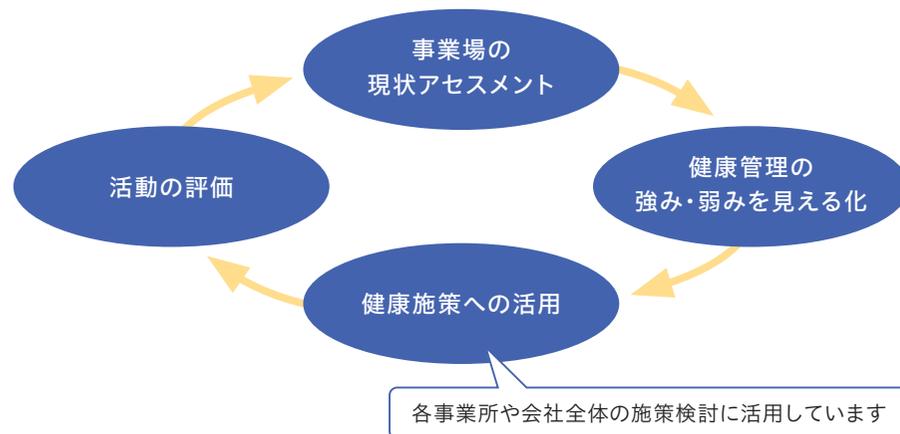
健康保険組合が、レセプト・健診結果・問診票をもとに健康状態を分析します。

▶ 一人ひとりの健康状態が見える化

健康年齢やアドバイスを個別にフィードバックします。(ゆうゆうセルフチェック)

▶ 事業所ごとの健康データが見える化

①医療費内訳 ②健診結果集計 ③生活習慣 等 (事業所別健康レポート)



ゆうゆうセルフチェック
健康診断と一緒に生活習慣もチェック!!

あなたの体内年齢がわかります!!
 予防医学の観点で作られた問診と、カラダに関する簡単な測定データを入力することで、医学博士が考案した“人工頭脳”が、あなたのカラダの健康状態を判定します。

セルフチェック判定 **問診** **結果**

体内年齢と問題点を発見!!
 身体の状態と指標別に点数化
 ・体型崩壊
 ・血行障害
 ・疲労
 ・老化

健康レベル判定
 生活習慣に関する健診結果と問診(服薬、喫煙)から健康レベルを判定します。

問題解決アドバイス
 ドクターから個別に頑張らなくてもできる3つのアドバイス。

現在と3年後の予測値
 現在の状況をしっかりと自覚。現在の生活を続けた場合の3年後のあなたの姿を予測。

総合判定表

問題解決のための今日から出来る簡単アドバイス!

健康推進に関わる会議体

取締役会での健康づくりに関する報告・意見交換(年1回)

[内容] 健康づくり施策に関する現状報告、意見交換

中央安全衛生委員会(年2回)

[構成] 会社トップ、工場総務部長、労働組合、安全・健康推進部、健康増進センタ等

[内容] 健康に関する活動報告および健康に関する施策の意見交換、改善に向けての協議

グループ安全衛生委員会(年2回)

[構成] 会社トップ、グループ会社総務部長、グループ会社の労働組合、安全・健康推進部、健康増進センタ等

[内容] 健康に関する活動報告および健康に関する施策の意見交換、改善に向けての協議

健康づくり推進委員会(年1回)

[構成] 健保組合理事長(人事部長)、組合会議員(事業所総務部長・労働組合)、健康増進センタ、健康保険組合

[内容] 「健康」についての課題を共通認識し、社員および家族の健康維持増進を図る施策を構築

健康づくり中期計画に関する会議(年2回)

[構成] 社外コンサルタント、会社トップ、人事部、安全・健康推進部、労働組合、健康保険組合、健康増進センタ

[内容] 健康づくり中期計画における各チームが立案した健康施策の審議、承認

健康増進会議(年2回)

[構成] 社外コンサルタント、会社トップ、人事部、安全・健康推進部、労働組合、健康保険組合、健康増進センタ

[内容] 各事業所の健康づくり活動の共通課題を共有・協議し、活動方針や方向性を確認

産業医ミーティング(毎月)

[構成] 全事業所産業医

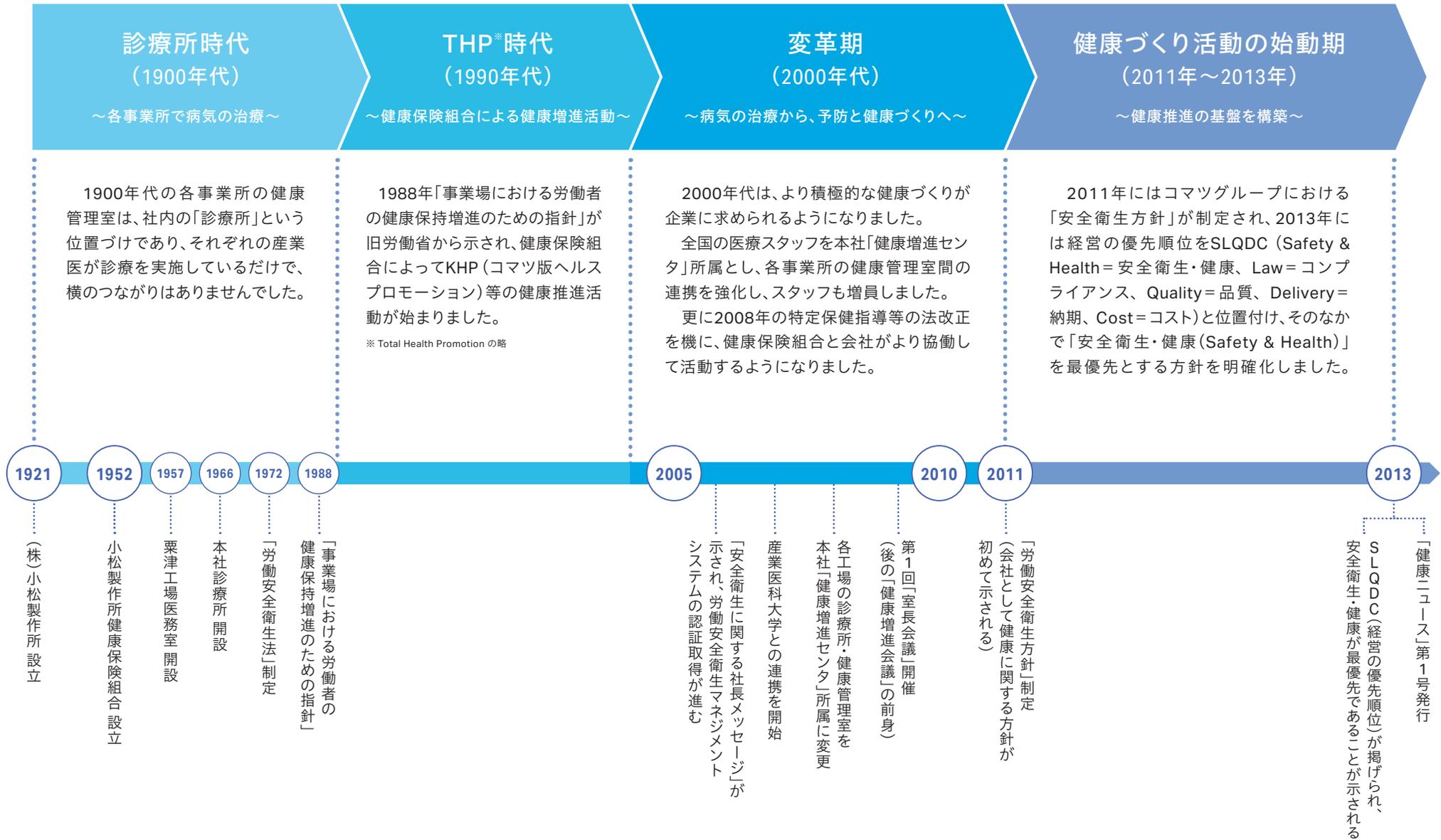
[内容] 各事業所の健康増進活動や全体の健康施策における協議や情報共有

看護職業務連絡会(年6回程度)

[構成] 全事業所看護職

[内容] 情報共有、テーマを設けてグループディスカッション

健康づくりのあゆみ

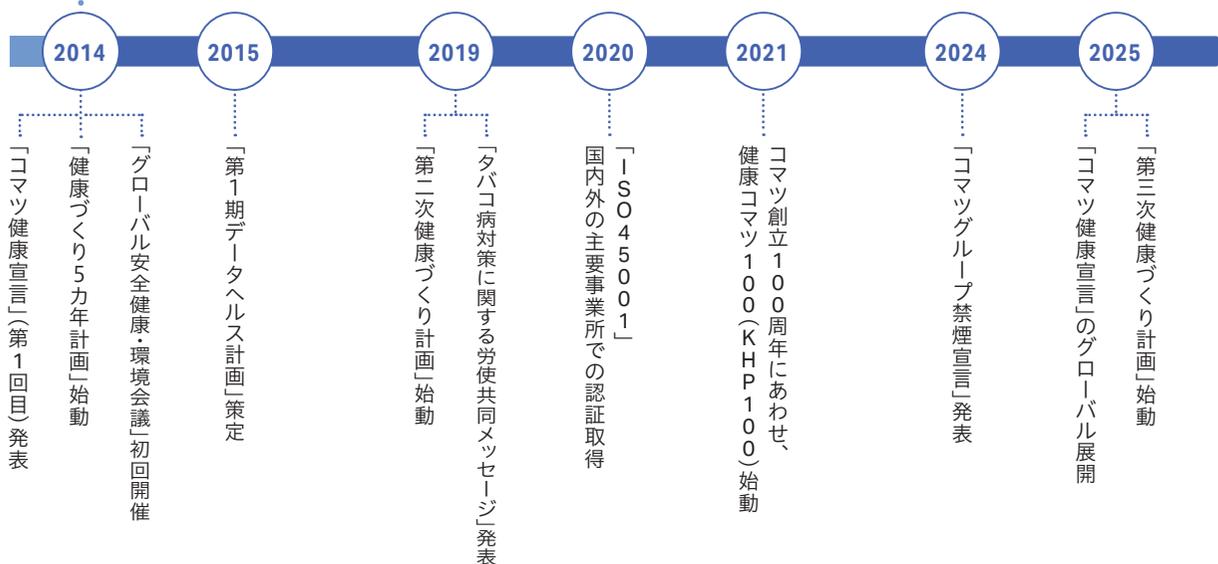


健康づくりのあゆみ

健康づくり計画が本格スタート (2014年～)

～本格始動期:「健康文化」の醸成を目指して～

- 2014年に「コマツ健康宣言」が発表され、同時に「健康づくり5カ年計画」が策定されたことを皮切りに、コマツにおける健康づくり活動が本格的に始動。この計画は、社員が在職中のみならず、退職後も健康で充実した人生を送るためには、健康を「管理」されるだけでは不十分であり、社員が自らの健康状態や仲間の健康に目を向け、必要な行動を考え実践できる力(ヘルスリテラシー)を育む必要があるという考えに基づき、「健康文化」の醸成を目指しています。
- 2019年からはコマツの中期経営計画にあわせて、3年ごとに計画が見直され、各専門チームの編成見直しも行っていきます。
- これらの計画の遂行により、社員のヘルスリテラシーが向上し、社員死亡者数の減少や、小規模事業所の健康を支援する環境整備が進むなど、具体的な効果が確認されています。

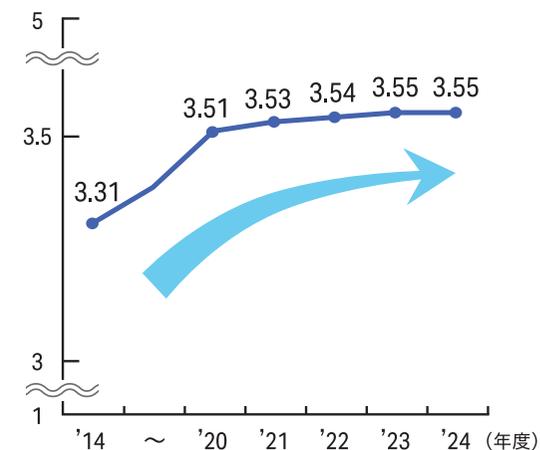


◆健康づくり計画の推進実績/予定

- 2014～2018年度: 健康づくり5カ年計画
- 2019～2021年度: 第二次健康づくり計画(前期)
健康コマツ100(KHP100)※
- 2022～2024年度: 第二次健康づくり計画(後期)
- 2025～2027年度: 第三次健康づくり計画(前期)

※Komatsu Health Promotion 100 P.13参照

◆社員のヘルスリテラシー推移



※伝達の・批判的ヘルスリテラシー尺度: 数値は問診の5設問に対する5点満点の平均点より算出(①情報収集、②情報選択、③理解・伝達、④信頼性の判断、⑤計画・行動)

第二次健康づくり計画(後期)実績

[第二次健康づくり計画(後期)の目標]
自然に健康行動をとれるような環境・仕組みを整える

2022～2024年度の「第二次健康づくり計画(後期)」では、「自然に健康行動を取れるような環境・仕組みを整える」を目標に掲げ、敷地内全面禁煙、ICTツールの導入、ヘルシーメニューの提供、脳ドックの導入など、これまでの活動に加えて更なる取り組みを進め、社員が生涯を通じて健康に過ごせる仕組みの強化が図られました。

項目	評価指標	実績			
		2022年度	2023年度	2024年度 [目標値]	
重点指標	ヘルスリテラシー向上	ヘルスリテラシー尺度	3.54	3.55	3.55 [3.7以上]
	がん・生活習慣病対策 →P.11参照	定期健康診断受診率	100%	100%	100%
		(参考)二次検診受診率	98.5%	98.2%	97.3% [100%]
		節目ドック受診率	88.2%	84.4%	86.3% [95%以上]
		女性がん検診受診率	56.9%	58.2%	56.6% [80%以上]
	(参考)脳ドック受診率	77.2%	70.4%	75.8%	
	タバコ病対策 →P.12参照	喫煙率	28.4%	28.5%	26.1% [全国平均16.7% 以下]
生活習慣改善推進 →P.13参照	健康行動コンピテンシー※保有者率 ※自ら健康行動を実践できる能力(適切な食事・運動等への習慣改善・維持)	52.7%	53.8%	54.7% [60%以上]	
メンタルヘルス対策 →P.15参照	高ストレス者への面談勧奨に対する返答率	99.0%	97.7%	99.4%	
	(参考)ストレスチェック実施率	99.1%	98.6%	99.0%	
	高ストレス職場への対応率	97.0%	100%	100%	
アブセンティーズム	メンタルヘルス不調により休んだ日数(社員1人当たりの平均休業日数/年)	1.28日/年	1.52日/年	1.59日/年	
プレゼンティーズム	病気や怪我による仕事のパフォーマンスの低下 (病気や怪我がない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価。プレゼンティーズム=100-全社員の平均値)	9.9%	14.8%	15.2%	
ワークエンゲージメント	「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」「自分の仕事に誇りを感じる」	34.9%・65.6%	35.6%・66.7%	36.1%・67.0%	

*集計対象：国内コマツグループの全社員 約2万人

具体施策：からだ① ～早期発見・早期治療 脳ドック～

一般健康診断

受診率は毎年100%。二次検診受診率も90%以上を維持し、治療放置群の低減に努めています。

	生活習慣病では未通院(未治療)				生活習慣病で通院(治療)		
	正常群	不健康群	患者予備群	治療放置群	生活習慣病群	重症化群	生活機能低下群
2021年度	25.8%	24.3%	22.1%	2.6%	19.0%	6.0%	0.3%
2022年度	26.3%	23.8%	20.7%	2.5%	19.9%	6.5%	0.3%
2023年度	25.4%	23.1%	20.9%	2.4%	20.8%	7.0%	0.4%
他健保※ 2023年度	22.7%	23.8%	21.8%	4.8%	19.8%	6.8%	0.4%

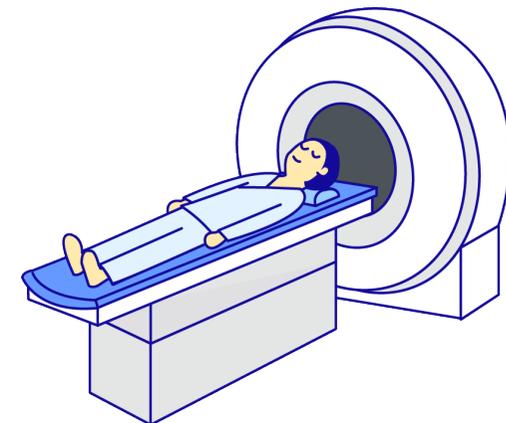
※JMDC契約健保230健保加入者約496万人(被保険者)のデータを使用

脳ドック

コマツグループでは、新たな試みとして2021年度から脳ドックを導入しています。生命に直結する「くも膜下出血」を未然に防ぐため、**40歳時に頭部MRI検査**を実施しています。

脳ドックの導入により、くも膜下出血の原因となる“**破れる可能性のある脳動脈瘤**”が13名の社員(0.1%)に見つかり、全員処置を受けて破裂を免れました。(2021-2023年度)また98名は経過観察とされました。この数字は日本の平均とほぼ同水準です。

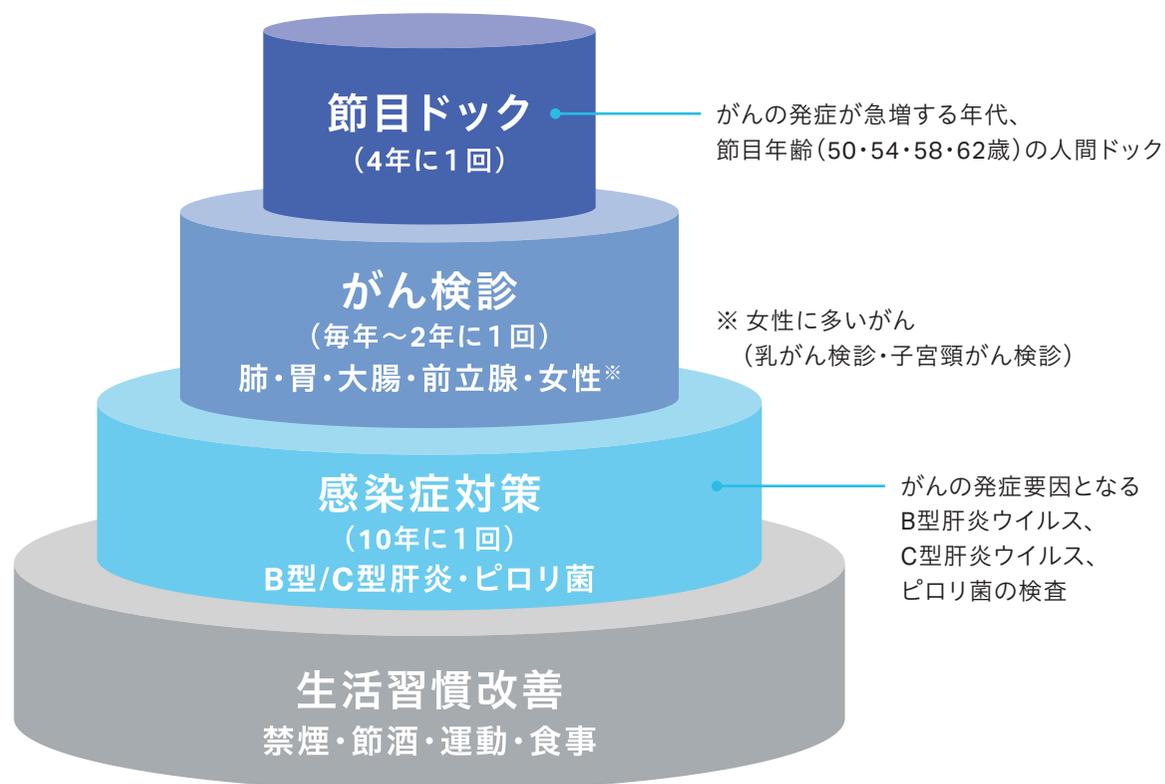
他の脳疾患等が発見された社員も193名(うち治療を受けた社員20名)います。



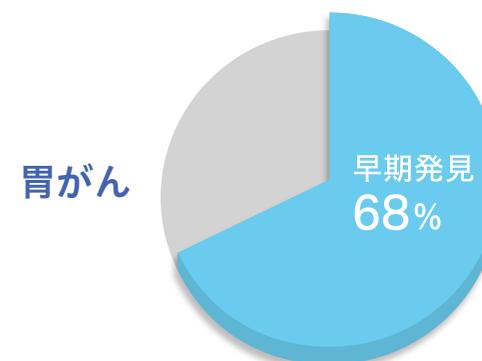
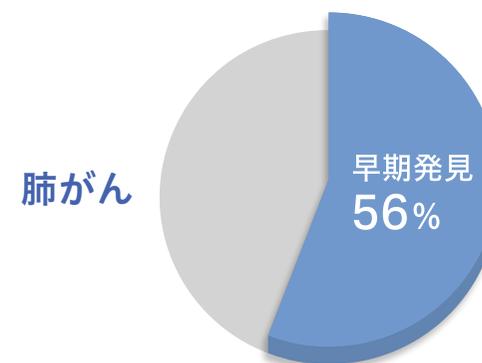
具体施策：からだ② ～全方位的な対策 コマツがん戦略～

コマツがん戦略

がんの発症予防(生活習慣改善)から早期発見まで、全方位的に網羅したがん対策を実施しています。



[節目ドック 10年間における早期発見率]



具体施策：からだ③ ～全社一丸で対策を推進 タバコ病～

タバコ病

喫煙者の健康障害と受動喫煙による健康被害を「タバコ病」と呼び、これを防止するために、**健保・労組・会社の三者が一体**となって対策を推進しています。



環境整備

- 2014年より段階的に導入
「屋内喫煙所の撤去」・「屋外喫煙所の削減・撤去」・
「禁煙デーの設定」・「敷地内タバコ販売中止」・
「社有車内禁煙」・「就業時間内禁煙」
- 2025年4月 国内コマツグループ全拠点で導入
「敷地内全面禁煙」

環境整備は受動喫煙防止だけでなく、喫煙者の禁煙のきっかけ・禁煙継続にもつながっています。

2019年に社長と労働組合委員長との共同メッセージに掲げられた対策はすべて実現。

タバコ病対策に関する労使共同メッセージ

コマツグループはタバコによる健康障害を排除し、社員及び家族の健康の維持向上のために完全な受動喫煙防止と社員の喫煙率の更なる低減を目指し、労使が一致協力して次の活動を推進します。

1. 受動喫煙の完全防止の維持・強化
 - ・屋内喫煙所の全廃
 - ・屋外喫煙所の適正運営 等
2. 喫煙率の更なる低減のための喫煙機会の低減
 - ・喫煙時間の限定
 - ・禁煙デーの拡大
 - ・就業時間内禁煙の実施（2023年度末までに実施を目指す）
 - ・敷地内全面禁煙の実施（2024年度末までに実施を目指す）
3. 禁煙支援の促進
 - ・禁煙チャレンジの進捗化
 - ・禁煙教育の継続実施 等

2019年 6月 3日
2019年10月16日（改訂）
株式会社小松製作所
代表取締役社長（兼）CEO 小川 啓之
全コマツ労働組合連合会 会長 藤達 雅也

2025年度からは、事業所ごとに新たな共同メッセージが掲げられました。

本社 禁煙宣言

喫煙は喫煙者だけでなく、受動喫煙により周囲の人々の健康面のリスクも高めます。また、集中力・注意力の低下を招き、安全面のリスクも高めます。
あなたとあなたの家族や仲間の安全・健康のために、私たちはあなたの禁煙を全力でサポートします。
ぜひチャレンジしましょう！

2025年 4月 1日
株式会社小松製作所
安全・健康管理推進役員 横本 美津子
コマツユニオン本社営業支部
執行委員長 森田 美紀

▲本社における労使共同メッセージ

禁煙推進・喫煙率減少へ向けての対策3本柱



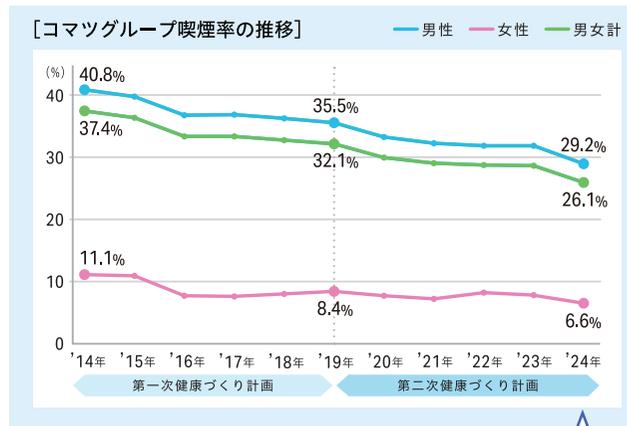
禁煙支援

自分にあった方法（オンライン禁煙外来コース、自力コース等）で禁煙にチャレンジできる**費用補助制度**を導入。



教育啓発

新入社員研修、禁煙教室、『健康ニュース』等を通じて、受動喫煙防止・禁煙の必要性を継続的に発信。



各種施策により男性の喫煙率は年々低下する傾向。しかし、未だに全国平均より約4%高い状況にあるため、今後も喫煙率低減に向け力を入れていきます。

具体施策：からだ④ ～運動・身体活動～

KHP100 / コラボヘルスとしての健康増進活動

コマツ創立100周年となる2021年に、健康寿命100歳を目指す健康増進活動としてKHP100 (Komatsu Health Promotion 100) を開始しました。

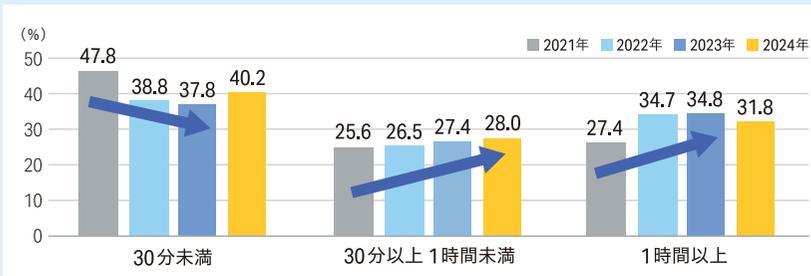
健康保険組合が主体となり、身体活動・運動量を可視化するウェアラブルデバイスを希望者全員に配布し、デバイスと連携可能な健康ポータルサイト(アプリ)を通じて、健康イベントを開催しています。



行動変容・ヘルスリテラシー向上へ

▶ KHP100開始後にコマツグループ社員の身体活動は増加しています。

[1日の身体活動時間の推移]



「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日にどれくらい行っていますか」
(勤務・業務における現場作業・家事を含む)の回答割合の推移

▶ これらの取り組みなどが評価され、
2025年も「スポーツエールカンパニー」に認定されました。

「スポーツエールカンパニー」は、働き盛り世代のスポーツ実施の促進を目的として、従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業を認定する制度。スポーツ庁主催。

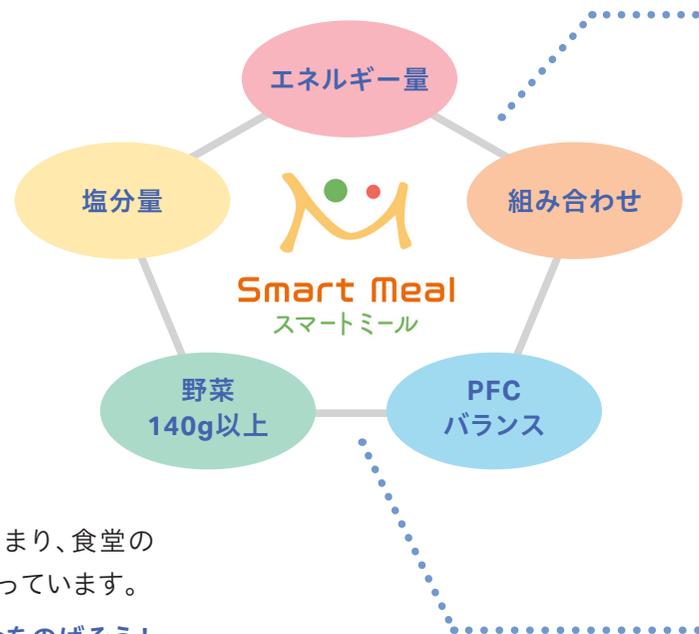
具体施策：からだ⑤ ～食事～

会社食堂・弁当販売の工夫

健康に気をつけたい社員が、健康づくりに役立つ食事を食べられるように、外部認証制度である「スマートミール」の認証をコマツの10事業場・13食堂で取得。スマートミールを食べる社員は年々増加しており、スマートミール弁当の販売や管理栄養士によるランチオンセミナーを実施している事業場もあります。



「スマートミール」
健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事メニュー。
1食の中に主食・主菜・副菜が揃い、野菜がたっぷり、食塩の取り過ぎにも配慮した食事。



食堂・食事に関する委員会

各事業場において人事総務部門、健康管理部門、食堂業者が集まり、食堂のメニュー・味・値段だけでなく、栄養の観点からも定期的に検討を行っています。

そうした食堂改善活動やKHP100が評価され、「第12回 健康寿命をのぼそう! アワード」の厚生労働省健康・生活衛生局長 優良賞(企業部門)を受賞しました。

「健康寿命をのぼそう!アワード」

生活習慣病予防の啓発活動の奨励・普及を図るため、優れた啓発活動・取り組みの奨励・普及を図ることを目的とし、優れた取り組みを行っている企業・団体・自治体を表彰する制度。厚生労働省、スポーツ庁主催。



具体施策：こころ

多面的な取り組みで、いきいきと働ける職場を目指しています。また、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ活動にも力を入れています。

一次予防 ～相談しやすい環境の整備～

▶いきいき職場ミーティング

職場へストレスチェックの組織結果のフィードバックを行い、全職場でいきいき職場ミーティングを実施。高ストレス者、高ストレス職場ともに、減少しています。

2024年度 高ストレス者減少率 -1.5pt 高ストレス職場減少率 -6.7pt(対2021年度)

▶各種窓口の設置

健康管理室(こころと身体の健康相談窓口)、労働組合相談窓口、ハラスメント相談窓口、社外窓口 等

▶カウンセリング施策

以下を目的に、入社1～3年目の社員を対象にカウンセリングを実施(コマツでの実施率:2024年度 96.5%)

- ・自分の傾向を知り今後の働き方に活かす
- ・社内窓口への敷居を下げる

二次予防 ～早期発見・治療～

▶高ストレス者のフォロー

産業医面談や保健スタッフの面談、必要に応じて就業上の配慮を実施

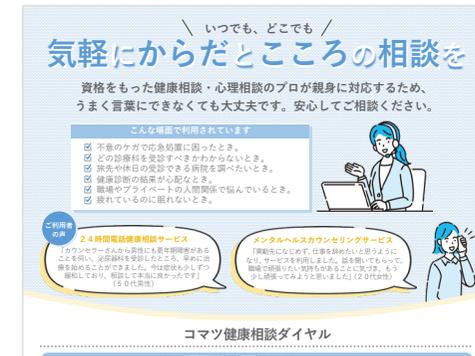
▶メンタルヘルスに関する教育・情報共有

- ・階層別にセルフケアやラインケアの研修を実施
- ・『こころのサポート便り』の配信
2カ月に1回管理職向けに配信、仕事に悩む社員に対し、どのようにラインケアを行うべきかを具体的な事例により紹介

三次予防 ～再発防止～

▶「職場復帰支援プログラム」に基づく職場復帰の支援

人事部門・健康管理室・職場と連携し、復帰をサポート



24時間無料で相談できる 健康相談・カウンセリングサービス
(コマツ健康相談ダイヤル)を社外相談窓口として設置しています。

具体施策：グローバル ～海外の事業所における健康づくり～

海外の現地法人で働く現地ナショナル社員は約4.5万人。グローバルも含めたコマツグループ全社員が「健康に、幸せに」を目指しています。

▶ 海外事業所におけるパフォーマンス監査

国内の産業医・安全衛生担当者等が監査員として海外事業所を訪問し、労働安全衛生パフォーマンス監査を実施。2017年制定の業務要領に基づきスコアリングを行い、健康管理を含む安全衛生活動の体制や運営状況を評価し、活動レベルの底上げを図っています。

▶ 日本人駐在員サポート

赴任前は生活習慣や心身の変化、感染症予防のセミナーを実施。赴任中は、ストレスチェック、健診後の受診勧奨、産業医面談等のサポートを行っています。

▶ 海外事業所での健康活動調査

2023年に37法人を調査したところ、健診実施率 86%、医師意見聴取率 92%という結果が得られました。医療施策については各国の法令や文化の違いからさまざまでしたが、食事や運動習慣の改善といった生活習慣に関する施策は、多くの現地法人で共通して実施されていることが分かりました。

▶ 海外事業所との会議

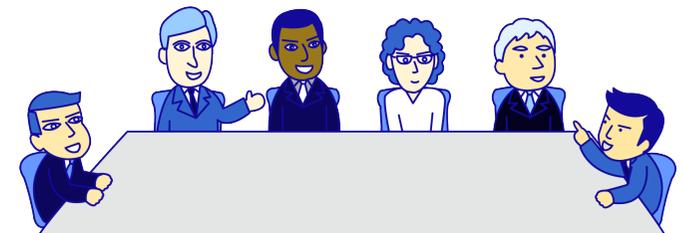
コマツグループの安全衛生・健康のグループ横断的な標準化の課題解消のための議論および地域内の情報共有の場を設けています。

- 安全衛生・健康リージョナル会議(各リージョンごとに年1回)
北米・ブラジル、中南米、欧州・ロシア・南アフリカ、アジア・オセアニア、中国
- 安全衛生・健康グローバル会議(3年に1回)

【監査実績】

2011年	インドネシア・タイ
2012年	インドネシア・インド・中国
2013年	インドネシア・タイ・ロシア
2014年	インドネシア・タイ
2015年	インドネシア・タイ・ブラジル
2016年	インドネシア・タイ・中国・イギリス・ドイツ
2017年	タイ・ミャンマー・中国・アメリカ
2018年	インド・中国・スウェーデン・イタリア
2019年	イギリス・ロシア
2020年	コロナ禍のため実施不能
2021年	
2022年	ブラジル
2023年	インドネシア・中国
2024年	スウェーデン・アメリカ

各現地法人の健康施策の中から、「Well-being（現地ナショナル社員の幸福）」につながる良好事例の共有を図っていきます。



具体施策：ダイバーシティと健康

各年齢別のアプローチ

それぞれのライフステージ、役職にあわせた、こころとからだの健康課題に対し、各種セミナーを実施しています。

特にヘルスアップセミナーは、国の特定保健指導が開始される40歳より前の、30代と早い段階からアプローチすることで、生活習慣の改善を促すことをねらいとしています。

- 新入社員教育、中堅社員研修、管理職研修
- ライフデザインセミナー（各年代、労働組合と協働）
- ヘルスアップセミナー（30代、健康保険組合と協働）
- 特定保健指導（40歳～、健康保険組合と協働）

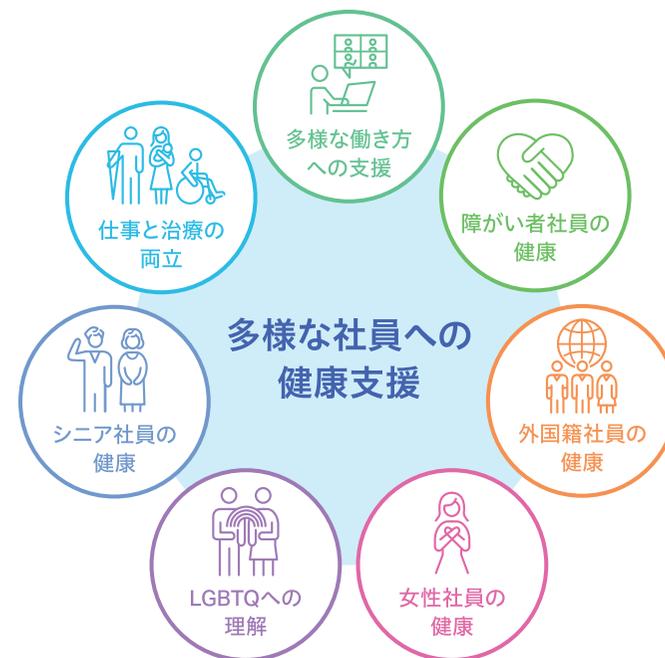
個々の特性に応じた支援

社員のさまざまなニーズにあわせた健康支援やセミナーを実施しています。

- 女性対象：月経、月経前症候群、更年期、がん検診等に関するセミナー
- 知的・発達障がい者（ビジネスクリエーションセンタ社員）対象：こころとからだセミナー
- 知的・発達障がい者指導員対象：知的・発達障がい者との接し方
- 外国籍社員対象：こころとからだセミナー、健診結果の活用（健診結果アプリ[英語版]を展開）
- シニア社員対象：加齢に伴う労災リスク（他企業含め共同研究の実施）

仕事と治療の両立支援

各種休暇制度の充実に合わせ、健康増進センタ内で業務要領を作成。病状に応じて情報提供を行い、ご本人・主治医・職場とコミュニケーションを図りながら、必要に応じて就業配慮（時短勤務、残業制限、通院日の確保等）を実施しています。



ヘルスアップセミナーの様子

第三次健康づくり計画（前期）2025～2027年度

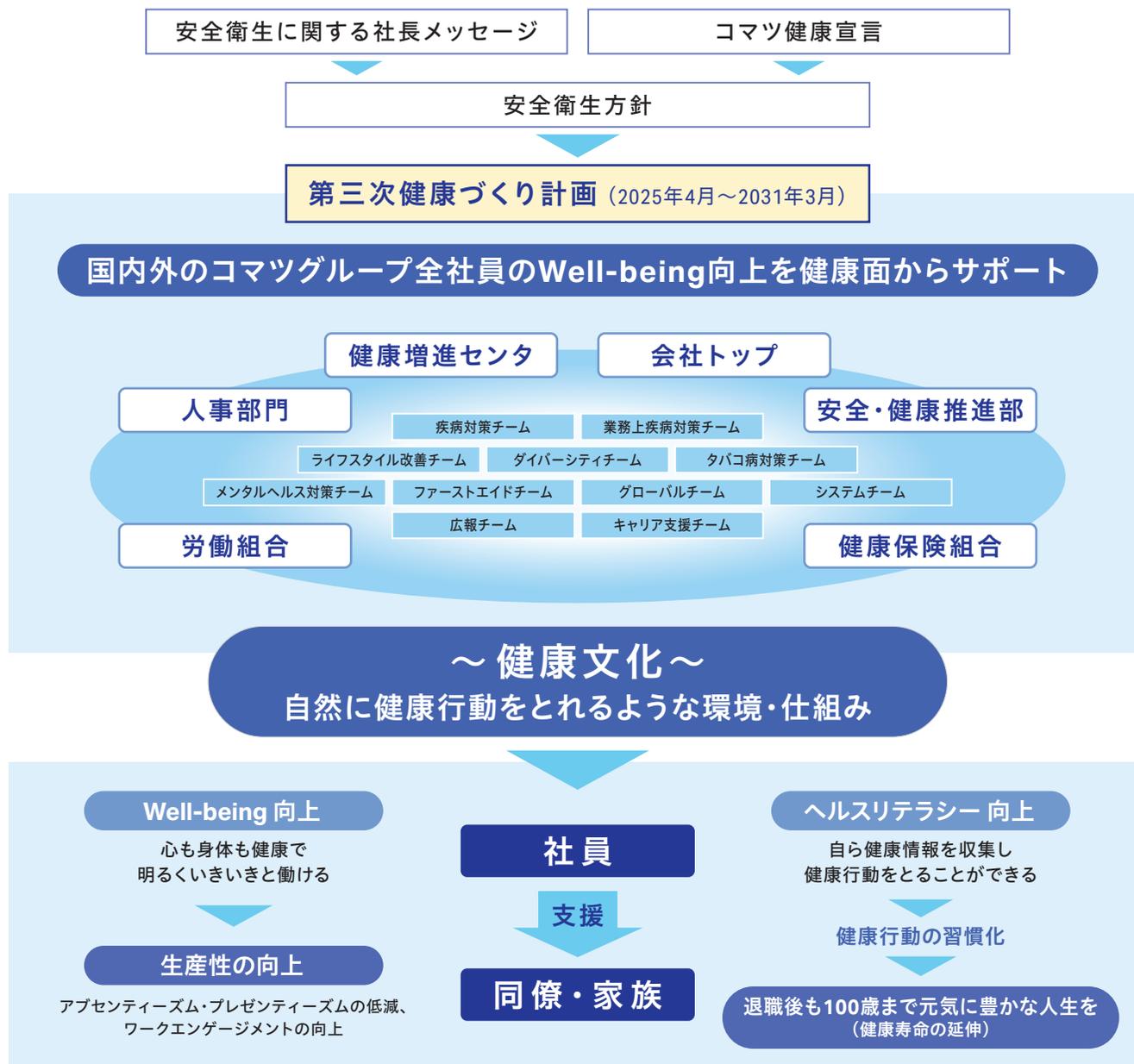
「第三次健康づくり計画」も引き続き、SLQDCの方針のもと、社長メッセージ、安全衛生方針、健康宣言の実現に向けて、各専門チームが課題を抽出し、PDCAを回しながら健康づくり活動を推進しています。

各チームは、産業医をチームリーダーとし、看護職、人事部門、労働組合、健康保険組合などの関係部門から選出されたメンバーで構成され、部門間の連携を図りながら、健康づくり中期計画に関する会議での協議・情報共有を通じて活動を展開しています。

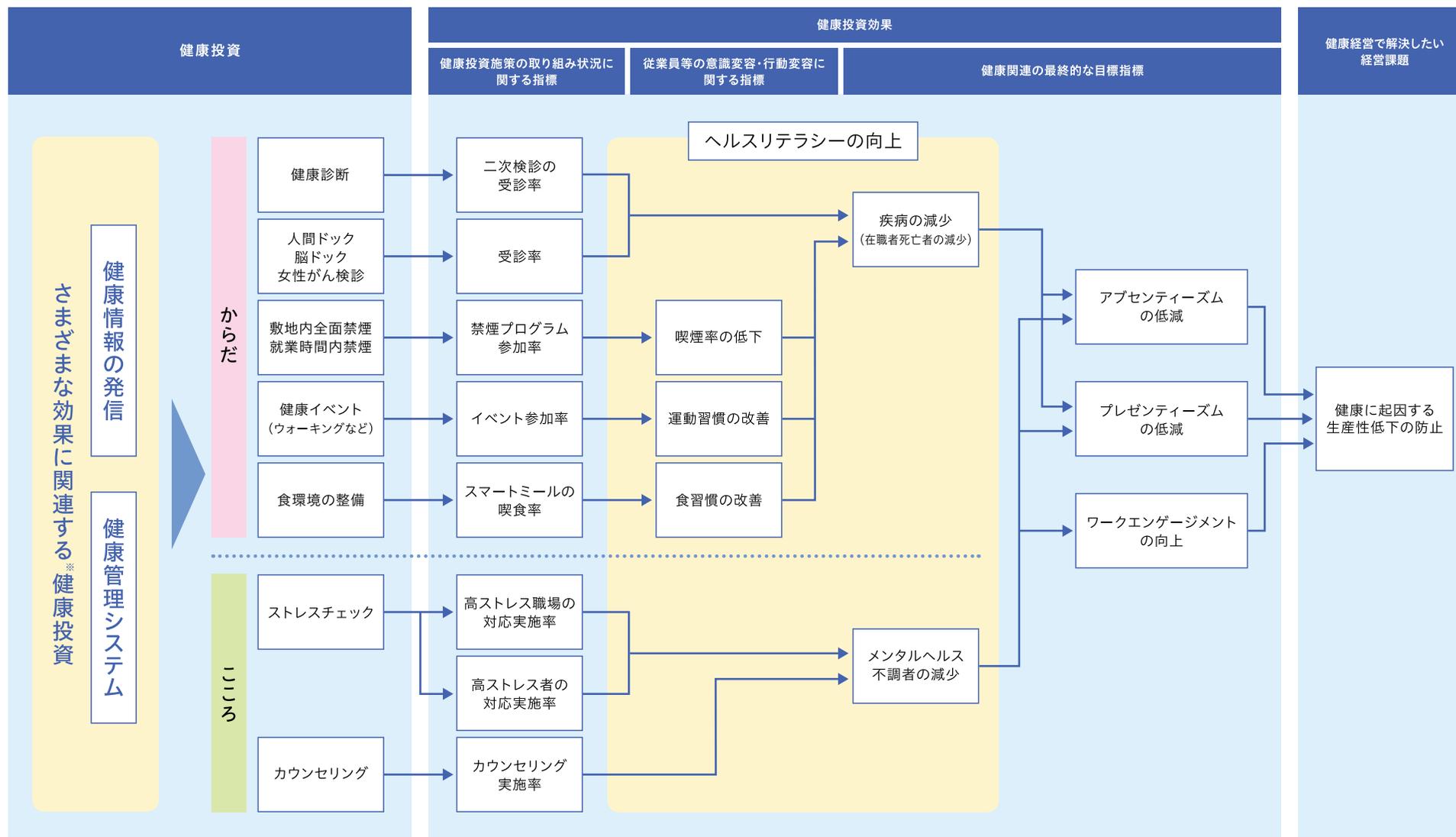


健康づくりイメージキャラクター「いきいきハッピー」
健康づくりが本格的に始まった2014年に誕生しました。

私たちは、社員全員が心身ともに健康で明るくいいきと働き、健康寿命をのばせるよう、自然に健康行動がとれる環境や仕組みを整備し、健康文化の醸成を目指しています。



健康戦略マップ2025 ～取り組みの全体像～



※基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取り組み状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取り組み状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「さまざまな効果に関連する健康投資」とする。

専門人材育成

社内健康管理室に数多くの専門人材を配置し、レベルの高い健康増進活動を進めています。
キャリア支援チームを形成し、今後も更なるレベルアップ・資格取得を推進していきます。
社内勉強会も、直近3年間で16回開催しています。

産業医 常勤11名・非常勤12名

労働衛生コンサルタント(保健衛生) 12名
公衆衛生学会専門家 2名
社会医学系指導医 7名
社会医学系専門医 10名 [+3]
日本産業衛生学会指導医 5名 [+1]
日本産業衛生学会専門医 6名 [+2]
日本産業衛生学会専攻医 7名

[]内は直近3年間の増加数

看護職 常勤39名

労働衛生コンサルタント(保健衛生) 1名
日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度 登録者 8名 [+6]
日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度 専門家 3名 [+2]
日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度 上級専門家 1名
公認心理師 8名
産業カウンセラー 10名(うちシニア2名)
精神保健福祉士 1名

[]内は直近3年間の増加数

その他の保有資格

日本医学会連盟加盟学会認定専門医・指導医
(総合内科、神経内科、糖尿病、循環器、外科等) のべ18名
日本スポーツ協会公認スポーツドクター 1名
日本禁煙科学会認定上級禁煙支援士 1名
両立支援コーディネーター 4名
健康運動指導士 1名
オキュペイショナルハイジニスト 2名

ほか多数

精神科医 非常勤5名

精神保健指定医 5名
精神科専門医 5名

カウンセラー 非常勤9名

公認心理師 5名
精神保健福祉士 1名
心理相談員 4名

※職員数は2025年4月1日現在

社会貢献

健康づくりに関する事業を通じて蓄積した知見・情報は、個人情報に配慮し、社外への公表・提供をすることで、社会全体の健康確保に貢献しようとしています。

〈学会発表〉

- 2022年 日本産業衛生学会 口演 1件
日本産業衛生学会全国協議会 ポスター 1件
- 2023年 日本産業衛生学会 口演 1件、座長 1件、ポスター 7件
日本産業衛生学会全国協議会 口演 1件、ポスター 3件
日本産業衛生学会地方会 口演 1件
- 2024年 日本産業衛生学会 口演 1件、ポスター 6件
日本産業衛生学会全国協議会 シンポジスト 1件、口演 1件
日本産業衛生学会地方会 口演 2件
公衆衛生学会地方会 口演 2件
ヘルスプロモーション学会 口演 1件

〈論文〉

- 2022年 産業衛生学雑誌 64(5)
- 2022年 BMC Health Services Research 1229
- 2024年 ヘルスプロモーション・リサーチ 16(1)
- 2024年 Journal of Occupational Health 66(1)
- 2024年 Journal of Occupational and Environmental Medicine 66(5)
- 2024年 産業医科大学学位論文 29

〈医学生・看護学生実習受入れ〉

- 2022年 本社、栗津工場、茨城工場、小山工場、湘南工場 計8大学
- 2023年 本社、栗津工場、茨城工場、小山工場、栃木工場、郡山工場、湘南工場 計14大学
- 2024年 本社、栗津工場、小山工場、栃木工場、湘南工場 計10大学

2025年4月1日現在(2022年以降)

編集後記

このたび、コマツグループとして初めて「健康白書」を発行する運びとなりました。

こころと身体の健康は、いきいきと働くこと、すなわち働く意欲や仕事のパフォーマンス、更には職場や会社全体の活力・生産性にもつながる重要な基盤の1つです。本白書を通じて、「なぜコマツグループが健康に力を入れているのか」という背景や想いが皆さまに少しでも伝わり、人生100年時代、一人ひとりが健康について考えるきっかけとなれば幸いです。

本白書では、これまで蓄積してきた健康データをもとに、活動を振り返りながら、更なる改善や進化へつなげていくことも目指しています。また、健康に関する取り組みやその成果を社外の皆さまにも発信することで、他社様との情報共有や新たな気づきにつながることも期待しています。こうした取り組みが、健康経営の更なる発展に、微力ながらも寄与できれば嬉しく思います。

なお、次回の発行は、現在推進中の第三次健康づくり計画(前期)が終了する3年後を予定しております。

今後とも、皆さまからのご意見やアイデアをいただきながら、より良い職場づくりに取り組んでまいります。

KOMATSU

コマツ健康白書

2025年7月1日 初版発行
資料制作:コマツ 健康増進センタ